

大川市水道事業経営戦略の見直し結果について

平成29年度に策定した経営戦略について、中長期的な経営の基本となる投資・財政計画の見直しを行った結果、収支ギャップが軽減される見通しとなりました。

1 主な理由

- ① 小石原川ダム本体工事の完成による「基本水量の見直し」

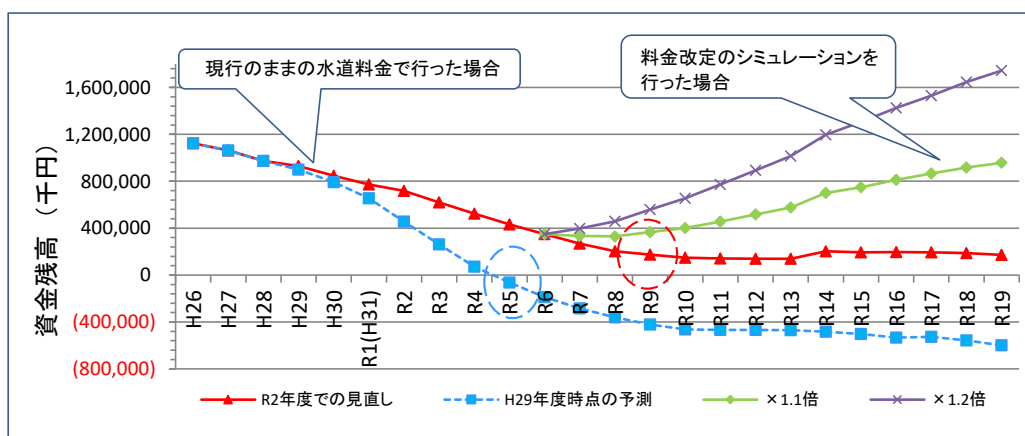
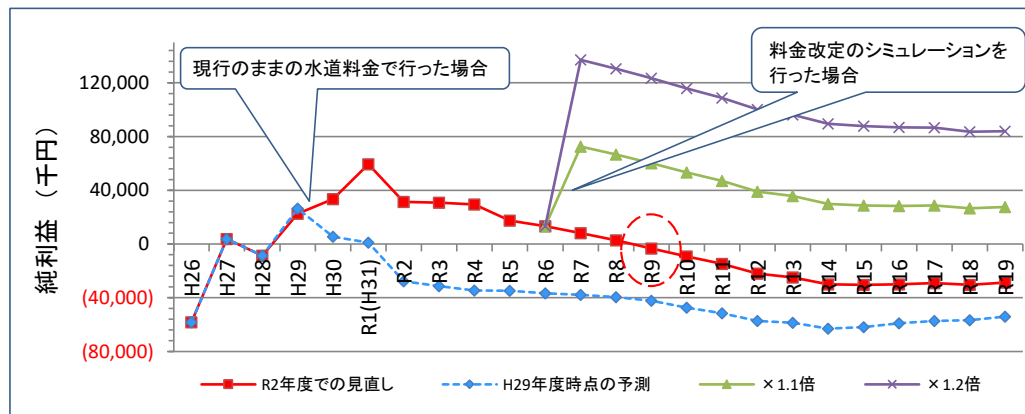
平成14年度（当初申請）：17,500m³/日

令和2年度（供用開始）：16,740m³/日（760m³/日 減少）

- ② 現状にあった「事業年次計画の見直し」

当初の経営戦略策定から3年経過したため、実績データを踏まえた経常収支の予測を行い、また、水道施設整備（管路+配水場設備）における事業計画の見直しを行った。

2 純利益と資金残高の推移



3 まとめ

当初の経営戦略では、令和5年度に資金残高がマイナスとなるため、令和3年度を目途に料金改定の必要があるとの予測でしたが、今回の見直しでは、令和9年度から純利益がマイナスとなり、資金残高も極めて低い水準となる見込みとなりました。

よって、純利益がマイナスとなる令和9年度の前には、料金改定も視野に入れた経営基盤の強化が必要となるため、今後も水需要等を注視しながら詳細な検討を行い、健全な事業経営を目指して行きたいと考えております。